

事業評価シート

番号 2340900 - 001

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館運営管理				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	歴史博物館		
総合計画政策	歴史や文化を学び伝承します		政策コード	4 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。				
事業の内容	総合展示の維持・管理と特集展示の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究				
事業の対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化の学習機会と成果の発表の場			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客			
	どのくらい (具体的な 数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
平成29年度 (実施内容)	総合展示の維持・管理および展示替えと特集展示の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	15,340	520	15,808	520	16,484	520
嘱託職員	5,252	520	5,304	520	8,034	780
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	20,592	1,040	21,112	1,040	24,518	1,300

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		131,780	115,459	113,670
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	光熱水費	23,976	20,467	22,531
	資料購入費	2,900	2,532	1,912
	資料保存処理業務委託	1,177	1,242	1,188
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
		63,284	63,284	63,284
計(D)=B+C		195,064	178,743	176,954

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	215,656	199,855	201,472

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	1,367	2,051	2,983
その他	1,442	1,406	1,927
計(F)	2,809	3,457	4,910

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	212,847	196,398	196,562

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	10,693	12,267	14,609
受益者負担額(千円)	1,367	2,051	2,983
受益者負担率(%)	0.6%	1.0%	1.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	19,905	16,010	13,455

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	特集展示回数	単位	回数
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	6	6	6
実績値	8	8	7

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	常設展示一日平均観覧者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	80	80	80
実績値	110	107	84

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民が岐阜市の歴史を学ぶ場、及び市の歴史を後世に伝える施設として、市民・社会のニーズに込んでいる。 市民が岐阜市の歴史を学ぶ場、及び市の歴史を後世に伝える施設として、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	資料の収集・保存及び調査・研究など短期的な収入に結びつきにくい業務があるが、長期的には有効と考えられる。 歴博ボランティアを導入し、総合展示室における体験指導及び補助と展示解説等を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信でき、トリップアドバイザー日本MP上で、当館は岐阜市内観光スポット中10位に位置している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求め一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体身障者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	質の高い文化を市民をはじめ多くの方に紹介して集客を図り、研修生や実習生の受け入れ、学校教育との連携等、市民協働と生涯学習を推進する。また、施設管理における指定管理者制度の導入について、効果や課題等を研究していく。

事業評価シート

番号 2340900 - 002

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館展覧会				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	歴史博物館		
総合計画政策	歴史や文化を学び伝承します		政策コード	4 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。				
事業の内容	企画展・特別展の開催、展覧会に関する資料等の調査・研究				
事業の対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化および国内外の歴史・文化の学習および鑑賞機会の場			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客			
	どのくらい (具体的な 数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
平成29年度 (実施内容)	企画展(タイムスリップ!大むかしの暮らし、ちょっと昔の道具たち)、特別展(信長展(主催:450実行委員会)、レオナルド×ミケランジェロ展)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	46,020	1,560	47,424	1,560	49,452	1,560
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	792	180	792	180	828	180
計(A)	46,812	1,740	48,216	1,740	50,280	1,740

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		26,367	45,256	160,629
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	開催負担金	9,947	28,130	137,670
	資料輸送業務委託	1,581	739	756
	会場構成業務委託	7,225	5,033	3,434
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		26,367	45,256	160,629

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	73,179	93,472	210,909

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	5,474	4,140	3,344
その他	1,873	7,148	50,477
計(F)	7,347	11,288	53,821

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	65,832	82,184	157,088

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	59,438	63,646	110,410
受益者負担額(千円)	6,266	8,958	33,821
受益者負担率(%)	8.6%	9.6%	16.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,108	1,291	1,423

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	企画展および特別展開催日数	単位	日
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	180	180	180
実績値	242	233	202

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	企画展および特別展一日平均観覧者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	250	250	250
実績値	201	221	458

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民に質の高い歴史、文化に身近に触れる機会を提供することで、学校教育、生涯学習に資するとともに、岐阜市を誇りとするアイデンティティーを形成し、あわせて市外からの集客を図る。 国内の国宝、重要文化財から国外の貴重な文化財まで公開できる施設及び人材を市が有しているとともに、深く教育に関わり、市の文化行政と密接な連携を図る必要性から、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	社会教育施設として、短期的な収益の向上のみを目指すのではなく、長期的な教育的効果の向上が重要である。 特別展開催にあたって、新聞社等より出資を得て実行委員会を組織して運営するとともに、民間団体より協賛金や展示協力を得ている。また、企画展では市民ボランティアの活用を図り事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民の岐阜市を誇りとするアイデンティティーの形成、岐阜市の友好都市をはじめとする諸外国の文化と歴史の紹介と理解、さらに岐阜市に係る歴史と文化を発信する観光拠点施設として有効性が高く、平成29年度市民が選ぶ岐阜市10大ニュースでは、3位に特別展「レオナルド×ミケランジェロ」展がランクインしている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各特別展実行委員会は経費を基に算出した特別展観覧料を設定し受益者(観覧者)に負担を求め一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体身障者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とする議決を行い、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深めることができた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示を通じ発信できた。 なお、企画展の開催については、学校教育との連携(博学連携)を前提としたものも多く、今後も効果的に展開していきたい。

事業評価シート

番号 2340900 - 003

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館教育活動				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	歴史博物館		
総合計画政策	歴史や文化を学び伝承します			政策コード	4 - 5 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を行う。	
事業の内容	一般および子ども・親子を対象にした、郷土の伝統文化に関わるものづくりや教養講座を開催するとともに、小学校の授業支援を行う。	
事業の対象	何を	岐阜市の歴史や文化を学習する機会の提供
	誰に (対象者・対象者数)	市民全般
	どのくらい (具体的 数値で)	10講座
平成29年度 (実施内容)	古文書入門・落語って面白い・岐阜提灯を作る・岐阜和傘を作る・子ども歴史講座・夏の子ども教室・土曜講座・まちなか博士サポート講座・出前授業・特別講座を開催するとともに、歴博ボランティアを導入し、市民が学習成果を活用できる場を提供した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	7,670	260	15,808	520	16,484	520
嘱託職員	2,626	260	2,652	260	2,678	260
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,296	520	18,460	780	19,162	780

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	博物館だより	362	0	495
	研究紀要印刷	0	341	0
	館藏品図録印刷	754	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		6,026	3,617	4,734

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	16,322	22,077	23,896

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	143	198	144
計(F)	143	198	144

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	16,179	21,879	23,752

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民全般	岐阜市民全般	岐阜市民全般
受益者数	1,251	1,213	1,091
受益者負担額(千円)	196	198	195
受益者負担率(%)	1.2%	0.9%	0.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	12,933	18,037	21,771

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座開催回数	単位	回
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	9	9	9
実績値	9	9	9

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座のべ参加者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	1,180	1,180	1,180
実績値	1,251	1,213	1,091

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学習指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座を開講することが重要であり、教育に対する市民・社会のニーズに応えている。 子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学校指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座を開講することが重要であり、教育に深く関わることから市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	子どもたちに対する郷土教育は、今後の人生に対する希望と目標を与えるためのものであり、教育的効果は高いと思われる。 講座の開催にあたり、市が主催ということで、講師やボランティアの積極的な協力が得られている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を効果的に行っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。ただし、土曜講座、まちなか博士サポート講座等、内部講師でありかつ材料費等の費用もかからないものは無料としている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育との連携・支援について積極的に調整を図り、効果的に開催することができた。 また、傘・提灯など郷土の伝統工芸品を扱う講座はもちろん、岐阜市の歴史を扱う講座を開講し歴史・文化の発信による市民のアイデンティティの醸成に寄与した。 なお、博物館活動の情報発信については、今後ホームページのリニューアル等で改善するとともに、印刷物で記録していた年報についてはデジタル化を行う。

事業評価シート

番号 2340900 005

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館運営管理				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	歴史博物館		
総合計画政策	歴史や文化を学び伝承します		政策コード	4 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の芸術文化的な魅力を全国に発信する拠点施設として、観光面での大きな役割を果たす。				
事業の内容	第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を展示し画業を顕彰する。 第2展示室において、地元で活躍する画家・作家グループなどの作品を展示する。				
事業の対象	何を	加藤栄三・東一両画伯およびふるさと岐阜にゆかりのある作家の作品を紹介			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
平成29年度 (実施内容)	第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を紹介する企画展を6回開催した。 第2展示室において、地元で活躍している画家や作家グループなどの作品を紹介する企画展を8回開催した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0	0	0	0	0	0
嘱託職員	7,373	730	7,446	730	7,519	730
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	7,373	730	7,446	730	7,519	730

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		8,180	8,994	10,754
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	ポスター・チラシ印刷	840	760	839
	作品輸送業務委託	1,512	2,153	2,300
	会場構成業務委託	571	710	967
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
		4,746	4,746	4,746
計(D)=B+C		12,926	13,740	15,500

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	20,299	21,186	23,019

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	889	718	654
その他	152	230	101
計(F)	1,041	948	755

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	19,258	20,238	22,264

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	11,554	9,326	9,860
受益者負担額(千円)	889	718	654
受益者負担率(%)	4.4%	3.4%	2.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,667	2,170	2,258

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催日数	単位	日
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	303	303	303
実績値	306	307	314

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	12,000	12,000	12,000
実績値	11,554	9,326	9,860

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	全国レベルの加藤栄三・東一両画伯の作品から郷土作家の作品までそれぞれの作品を展示することで、市民文化の発展に寄与している。 加藤栄三・東一両画伯の画業顕彰はもとより、地元作家を発掘し芸術活動を顕彰する場の提供は、地元の事情に精通し、調査から展示までを一貫して行うことができる市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	絵画を中心に全国レベルの郷土作家の作品を紹介し、費用以上の内容の展覧会を開催している。 市立美術館という公共性が背景にあって、レベルの高い展覧会の開催が可能となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力年全国に発信するという独自のコンセプトにより、観光面での大きな役割を果たすことができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体身障者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	今後も本市の芸術文化に親しむ場として活用するとともに、芸術文化を情報発信する拠点施設として豊かな市民文化の発展に寄与していく。また、施設管理における指定管理者制度の導入について、効果や課題等を研究していく。

事業評価シート

番号 2340900 - 006

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館教育活動				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	歴史博物館		
総合計画政策	歴史や文化を学び伝承します		政策コード	4 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成7年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。	
事業の内容	絹絵・版画教室および親子絵画教室の開催	
事業の対象	何を	芸術文化に親しみ、自ら学ぶための機会の提供
	誰に (対象者・対象者数)	市民全般
	どのくらい (具体的 数値で)	3講座
平成29年度 (実施内容)	「絹絵教室」(5日間)、「親子絵画教室」(1日間)、「版画教室」(5日間)を開講した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0	0	0	0	0	0
嘱託職員	505	50	510	50	515	50
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	505	50	510	50	515	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		235	230	230
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	講師謝金	230	230	230
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		235	230	230

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	740	740	745

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	169	138	131
計(F)	169	138	131

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	571	602	614

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民全般	岐阜市民全般	岐阜市民全般
受益者数	89	89	89
受益者負担額(千円)	169	138	131
受益者負担率(%)	22.8%	18.6%	17.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,416	6,764	6,899

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座開催回数	単位	回
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	3

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座のべ参加者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	450	450	450
実績値	347	361	339

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民が芸術文化に親しみ、スキルアップを図るため、広く市民に開かれた講座であり、市民・社会のニーズに込えている。 専門家を講師に迎え、芸術文化への入り口および技術面で初級者の段階の市民のスキルアップを図る講座であり、広く市民を対象にした講座であるため、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	講座修了生がより高いレベルの芸術鑑賞者となることで、市の芸術文化の水準はさらに高くなるものと考えられる。 講座の開催にあたり、市が主催ということで、講師の積極的な協力が得られている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、効果的に機会を提供できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	公平性 各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、内容を吟味し効果的に開催することができた。 なお、今後は所蔵する加藤栄三・東一画伯の資料を用いた小中学校向けの出前講座などを加えるなど、教育普及の方策の多様化を図りたい。